

## 冊子や映像、スイーツの製作

# 県西部の学生PRに熱

**ラグビー  
W杯**  
9月開幕

秋に袋井市などで開催されるラグビーワールドカップ(W杯)に向け、県西部の学生が冊子や映像、スイーツの製作を通じて大会PRに熱を入れている。

16日には熱戦の舞台となるエコパスタジアムでお披露目イベントが開かれた。

静岡産業大(磐田市)の学生は2016年に続き、「ラグビーW杯

直前号」と題して第2弾となる冊子を作成。島田市出身の元日本代表小野沢宏時さんへのインタビューやW杯出場場の注目ポイントなどをまとめた。公共施設などで配布する方針という。

静岡文化芸術大(浜松市)の学生が披露したのは、それぞれ15秒と30秒の2本のPR映像。浜松駅などで既に放映していて、2年の

杉浦光基さん(20)は「W杯に足を運んでも

らうきっかけにした」と意気込む。

磐田市の県立農林大 学校研究部2年の長谷川葦さん(21)はボールを模したり、ユニホーム姿の同イメージキ

「キャラクターしっぺい」をデザインしたりしたクッキーを洋菓子店と開発した。

学生の活動は県西部地域局の「ラ☆ガールプロジェクト」の一環。学生たちが主に女性を狙ってラグビーの魅力を伝えようと活動している。



冊子やクッキーを紹介する長谷川葦さん(右)ら  
16日午後、袋井市のエコパスタジアム